

図工室の音

図工専科 小林 未来

展覧会まで残り1か月となった、にぎやかな図工室です。

のこぎりで木を切る「ギコギコ」の音。真っ直ぐ切るのは難しい。画用紙に「ペタッ!」と、絵の具いっばいの手でスタンプする音。絵の具を触るのは冷たくてトロトロで気持ちいい。電動糸のこぎりの「ガガガガ」の音に負けないように、友達に「これ、使っていい!？」と大きな声。

そして、好きな色の絵の具を手にいっばいつけて、授業の後に「今日、楽しかったよ」とこっそり言いに来てくれないしょ話の小さな声。

図工室は今日もいろいろな音や声であふれています。

今年の展覧会は、

11月18日(金) 9:00~16:00 最終入場 15:30

11月19日(土) 9:00~16:00 最終入場 15:30

の日程で行われます。

ぜひ、子供たちの世界をのぞきにいらしてください。



親子読書について

図書主任 鹿島 直子

高く澄みきった空に、心も晴れ晴れとする季節となりました。秋の夜長に親子で一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

東町小学校では、例年のように「20分親子読書」に取り組みます。

普段は個々に自分の好きな本を読んでいます、この「親子読書」の期間はぜひ、大人から子供への読み聞かせも行っていただけたらと思います。きっと素敵な親子のひと時になることでしょう。同じ空間で一緒に個々の本を読むこともおすすめです。一日の忙しさを一時忘れて、ともに静かな空間を過ごしてみてください。この経験から読書の習慣を身に付けて、子供たちが成長する上で常に本が傍らにある人生を歩んでほしいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いします。

<20分親子読書>

☆期間 10月24日(月)~11月6日(日)

☆内容 親子で読書に取り組み、読書記録をつける。

※詳細は、10月17日付「親子読書について」のプリントをご覧ください。

校内研究について

研究主任 村松 静香

今年度は、理科・生活科の学習を中心に話し合い活動を多く取り入れ、「自ら考えをもち、伝え合う児童の育成」をテーマに研究を進めています。自分の考えをしっかりともち、また考えを相手に伝え相手の考えを知ることが、社会で生きていく上でとても大切なこととなってきます。

言葉にしてしまうと簡単なことのように感じますが、一人一人が自分なりの考えをもち、伝えることは児童にとって難しいことでもあります。そして、学習の中で、自分が考えたことや感じていることを友達に伝えることを苦手とする児童も決して少なくはありません。

東町小学校の児童は、素直で明るく、異学年とも仲良くできるなど、良いところがたくさんあります。国際学級として、様々な生活経験がある児童同士が共に生活できるこの環境の中で、友達のいろいろな考えを知ること、その中で意見をまとめていく経験は、児童の力をさらに伸ばすことにつながると考えています。

児童一人一人が、「自分の考えを友達に伝えるって楽しい! 友達の考えを聞くのって楽しい!」と感じられる授業を目指して研究を深めていきます。